

□ディクションの先生より、下記のようなメールが届きましたのでご紹介します。

「鳥取オペラ 計羽先生へ

鬱陶しい梅雨空、今日も雨です。先生はご多忙の中、お元気ですか？

実は、つい先日二期会の魔笛の稽古中に、この**宮本亜門演出魔笛が、貴市の劇場へ月末に移動公演される事を知り、仰天しました。**

鳥取オペラの魔笛公演の事は既に**オペラ界の人々は周知**している筈です。

僕は二期会の魔笛の指導をしています、全く知らされていませんでした。中村先生が演出なさるのだし、少し**無礼だ**と思い、**担当に詰問したら、前から決まっていた**と言う事でした。

しかしブラボーにも記載されて無いし、不思議です。まあ亜門演出は、全く別物の魔笛です。騒音に関わらず、**中村オペラを肅肅と研修して行きましょう。**

8月末に拝聴するのを楽しみに致しております。

皆様に、よろしくお伝えください。ご機嫌よう！高折」

とのことです。

☆このお便りには、次の様な返信をしております。

□メール拝読しました。

二期会の魔笛公演については、**五月半ばに県の文化振興財団より知らされました。** 皆さんいろいろと心配してくださいますが、我々にとっては、またとない**学習の機会**をいただけたと喜んでます。それに出演者が日本のトップが揃いますので、こんなチャンスはめったにあるものではなく、11月公演の鳥取オペラに**塩を送っていただいた**と思ひ感謝しています。鳥取オペラでは、今月24日～28日までの五日間、韓国江原道芸総の招きで、「アマールと夜の訪問者」を公演します。そんなこんなで帰国直ぐの29日に二期会公演ですので、**楽しみが倍加**しています。先生には、八月に再度ご指導を戴く計画ですので、どうぞよろしくお願い致します。先生から頂いたカナダの代表的なクッキー、団員一同おいしく戴かせてもらいました。感謝しています。

それでは、来月のレッスンを楽しみにしています。

☆再びディクションの先生から、次の様なメールをいただきました。

計羽先生へ

早速のメール拝受致しました。先生にそう言って頂ければ、かつて二期会の経営に関与した者としては、有り難いお言葉です。ただし先生のご期待されるような歌手が揃うかは不明で、倉吉の歌手の方々のキュスティングの方が適合性を感じます。では八月に！高折

☆11月15日公演のとりアートオペラのまたとない宣伝になるものと、喜んでおります。ところで、7/8、東京二期会のマネージャーがお出でになり、7/29の魔笛公演をぜひ観ていただきたいとの勧誘がありました。

※ところが7/9、次の様なメールが届いています。

「3月頃に分かった、東京二期会が、今月、「魔笛」を持ってくと云う件。

二期会が少なくとも、**公的な補助金を貰っているのですから、やはり、由々しき問題**だと思えます。

事前にトリアート、あるいは県内の財団などにこの情報が入っていたのか？

入っていたなら、何故その段階でその是非を検証して貰えなかったのか？

これは鳥取側の問題ですね。

そして、鳥取には全くその情報が入っていなかった、或いは確認することが出来なかったなら、

二期会は何故、**数年前から県の事業として広報されていた演目**に、重なる物を、半年を切った時期に持ってきたのか？それなら、**改めて抗議をすべきか**とも思えます。二期会宛なのか？文化庁宛なのか？

荒立てるつもりはありませんが、このままでは**地方のオペラや文化が踏み**にじられて、泣き寝入りと思われてしまいます。心あるホール関係者や音楽関係者から、これはひどいといひ話しかけられています。」

とのこと。私たちは楽観的すぎるのでしょうか。私どもの耳に入ったのは、結果だけでしたから、好意的にとらえていました。先日出でになった二期会のマネージャー「松田善幸氏」によれば、会場設定の段階で鳥取県の倉吉未来中心(1500席)と秋田県民会館(1800席)の二つに絞られ、よりオペラ公演に向いているという理由で、倉吉未来中心が選ばれたとのこと。メールで指摘されたような配慮は、皆無だったようです。今更、何を言っても始まりませんので、私たちは、二期会がとりアートオペラ公演の前座を務めてくれると思いたいものです。

※先日出でになった二期会のマネージャー「松田善幸氏」には、具体的な協力として新聞コラムを書く約束をしました。しかし、スタッフの方より、厳しい指弾があった以上、鳥取オペラ協会としてあつけらかに微笑んでいる訳にはいなくなり、松田氏に下記のようなメールを送りました。

松田善幸様

鳥取オペラ協会の計羽孝之です。

先日は、わざわざお越しいただきありがとうございました。

ところで、先日は、私が地方紙にコラムを書いて観客動員の一助を果たすようお願いしたのですが、いろいろな方より、下記のようなご意見が寄せられており、私が書くのはまずい状況になっています。お約束をほごにして申し訳ありませんが、お許しください。

「3月頃に分かった、東京二期会が、今月、『魔笛』を持ってくると云う件。二期会が少なくとも、公的な補助金を貰っているのですから、やはり、由々しき問題だと思えます。事前にトリアート(鳥取県芸術文化祭)、あるいは県内の財団などにこの情報が入っていたのか?入っていたなら、何故その段階でその是非を検証して貰えなかったのか?⇒これは鳥取側の問題ですね。(鳥取県は全く関知していないとのことでした)そして、鳥取には全くその情報が入っていなかった、或いは確認することが出来なかったなら、二期会は何故、数年前(三年前)から県の事業として広報されていた演目に、重なる物を、半年を切った時期に持ってきたのか?それなら、改めて抗議をすべきかとも思えます。二期会宛なのか?文化庁宛なのか?荒立てるつもりはありませんが、このままでは地方のオペラや文化が踏みにじられて、泣き寝入りと思われてしまいます。心あるホール関係者や音楽関係者から、これはひどいとだいが話しかけられています。」

との内容です。

高折先生からは「実は、つい先日二期会の魔笛の稽古中に、この宮本亜門演出魔笛が、貴市の劇場へ月末に移動公演される事を知り、仰天しました。鳥取オペラの魔笛公演の事は既にオペラ界の人々は周知している筈です。僕は二期会の魔笛の指導をしていますが、全く知らされていませんでした。中村先生が演出なさるのだし、少し無礼だと思い、担当に詰問しましたら、前から決まっていたと言う事でした。

しかしブラボー(音楽情報誌)にも記載されて無いし、不思議です。まあ亜門演出は、全く別物の魔笛です。騒音に関わらず、中村オペラを肅肅と研修して行きましょう。」

とのことでした。順調に売っていた鳥取オペラの指定席券が、パタッと売れなくなったりしていますので、影響があるのでしょうか。個人的には、先日話しました通りですが、現在は周りをなだめることに精いっぱいです。ご理解ください。

その後、二期会の松田氏より、次の様なメールが届いています。

鳥取オペラ協会 計羽孝之様

東京二期会事務局の松田です。

先日は、お忙しいところ、お邪魔させていただき大変ありがとうございました。

計羽先生のお近くの方のご意見も、私も当初から倉吉で『魔笛』を準備されてきた方の中では、そのように思われても致し方ない面はあると覚悟はいたしておりましたので、おっしゃる通りのご意見かと存じます。その中で、会長でいらっしゃる計羽先生に、先日のようにお迎えいただき、応援の言葉を直接いただきましたことは、それだけでも何より安心と心強い思いでいることができました。あらためて御礼を申し上げます。

もちろん、私ども現場に携わるものとしましては、何より地域で活動されている皆様にも、受け入れていただけるような公演にしたいと思っております。ご来場いただいたお客様も、11月の公演にもつながるようなことを検討させていただきたいと思えます。なお、本公演では、11月の公演のチラシもよろしければ配布をさせていただきます。数は多くないと思いますが、出演者の関連などでいつもと少し違うお客様もいらっしゃるのではないかと思います。よろしければご検討ください。

どうぞよろしく願い申し上げます。

松田善幸 Zenko MATSUDA

matsuda@nikikai.net

公益財団法人東京二期会 マーケティング部 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-25-12

Tel. 03-3796-1818 Fax. 03-3796-4710

そんな、こんな訳です。決まってしまうことに対して、今更どうしようもありませんので、好意的に受け取り、楽しくやりたいものだと思います。

□「7/11~7/12の2日間」の中村レッスンの報告。

7/11の参加者/渡邊寛智・松田千絵・寺内智子・吉田章一・野津美和子・西岡千秋・門脇彬光・佐々木まゆみ・鶴崎千晴・錢亀陸美・新倉健・尾坂俊恵・鈴木百々子・高木歩・計羽孝之

7/12の参加者/渡邊寛智・松田千絵・藤田卓也・寺内智子・吉田章一・西岡千秋・松本厚志・山田康之・佐々木まゆみ・鶴崎千晴・小椋美香子・小倉知子

中村氏のレッスンは、7/11は14:00～20:00までみっちり立ち稽古がありました。翌日の7/12は、10:00～21:00までの長丁場を、立ち位置の意味づけと動きを連動させる本格的な練習が始まりました。魔笛の、本来の上演様式など学びながら、格調高いオペラ公演になりそうな予感があります。ガンバリましょう。

□次回、7月19日(日)は、上萬雅洋氏の指揮で通し練習を行います。演出補助の高木歩氏が段取りを行います。また、合唱の練習会も同日より始まります。

7月19日(日)会場(倉吉市文化活動センター3F)

14:00～17:00 《出席》 寺内 吉田 西岡 山田 の4人

一幕 p64(11景)～p68(14景) p92(16景)～p119(19景)

二幕 p144(8景)～p151(12景)

16:00～18:00 **合唱練習/男声**

会場 音楽室 指導=西岡千秋

□8月2日(日)は、指揮者の松岡究氏による音楽稽古です。合唱の練習会もあります。

8月2日(日)(松岡レッスン)会場(倉吉市文化活動センター3F)

10:00～13:00

夜女 4番 14番 二幕フィナーレ

14:00～17:00

一幕 全幕

17:30～20:00

二幕 9番～20番

8月2日(日)(合唱練習/男声)

13:00～15:00 会場(倉吉市文化活動センター2F 音楽室)

□8月8日(土)(中村レッスン)会場(倉吉市文化活動センター3F)

14:00～19:00 詳細は後日お知らせします。

8月9日(日)(中村レッスン)会場(倉吉市文化活動センター3F)

10:00~20:00

□8月9日(日)(合唱練習/混声)

13:00~15:00 会場(倉吉市文化活動センター2F 音楽室)

□ドイツ語の指導は、8月30日の高折續先生のレッスンが残るのみとなっています。

これ以後の練習計画は、後日お知らせします。

以上の件、よろしくご承知おきください。

とりアート魔笛公演総合プロデューサー

計羽孝之(携帯090-1351-7574)mail:figarofigaro@do4.enjoy.ne.jp

とりアートオペラ公演事務局 682-0817 倉吉市住吉町77-1 Tel.0858-23-6095